

七沢療育園便り

第74号

2018年5月発行

神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢療育園

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516

電話 046-249-2720

ファックス 046-249-2739

ホームページ <http://www.n-ryoikuen.kanagawa-refab.or.jp/>

メールアドレス ryoikuen@kanagawa-rehab.or.jp

『当事者団体の重要性を感じた一週間』

副園長 生方克之



先の5月12日（土）に県社会福祉会館において開催された第52回神奈川県神奈川県重症心身障害児（者）を守る会総会に参加させて頂きました。総会では活動報告などの議事以外に伊藤光子会長のご挨拶や県・政令指定都市からの行政説明、それに映画鑑賞などがあり、神奈川県重症心身障害児（者）を守る会の歴史や活動を感じることができた一日でした。

総会では、他の当事者団体と同様に会員ご家族の高齢化や新規加入者の減少が話題に上がっていました。医療の進歩などにより医療ケア児や重症心身障害児の増加が社会的関心を集める中、重症心身障害分野においても当事者の声が集まりにくくなっているようです。

障害者関連の当事者団体は、社会的支援や当事者間情報が乏しい時代に毎日のケア等に苦慮しながら運動を始め、マスコミや政治家、行政を動かして今日の障害者福祉を築いてきています。今年度の障害者サービス報酬改定では、全国重症心身障害児（者）を守る会（以下「全国守る会」）のご尽力もあり、医療ケア児者等への新設サービスや報酬単価の引き上げが実現しました。

総会が行われた翌週の5月17日に療育園利用者・ご家族とともに社会福祉法人 キャマロードが運営するグループホーム「みどりスマイルホーム」を見学する機会がありました。全国守る会が、平成26年に行われた国の「障害児者支援の在り方に関する検討会」のヒアリングで、ケアホームの確保とともに医療的ケアに対応できる新たな施設体系を求めています。医療ケアを要する重症心身障害者が地域の中で暮らすことを実践されている「みどりスマイルホーム」を拝見し、全国守る会の要望が多く地域で実現することを願う気持ちが強まりました。

インターネットの普及や特別支援学校での家族交流などにより情報環境は豊かになっていますが、全国守る会をはじめ多くのご家族の方が願っている重症心身障害児者が地域で暮らす時代をもたらすためには、一人でも多くの当事者家族が集まり、声を上げていくことが重要だと思います。ご家族は日々のケアでとても大変と思いますが、当事者団体の活動に関心を持たれる方、参加される方が増えて大きなうねりとなり、重症心身障害児者が地域で生活できる選択肢が生まれる社会がくることを願うばかりです。

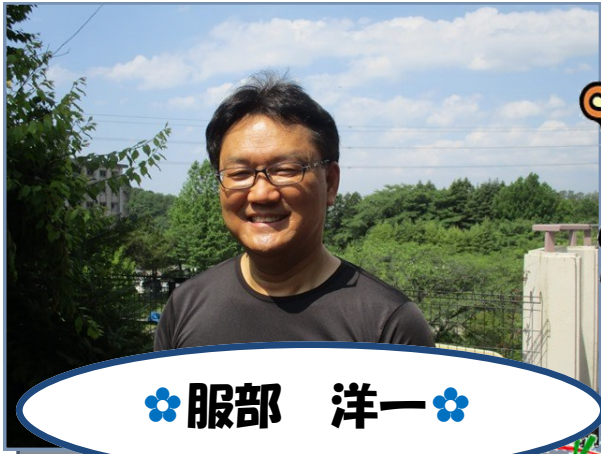


今年の日中班メンバー

新★班長



❀石渡 直子❀



❀服部 洋一❀



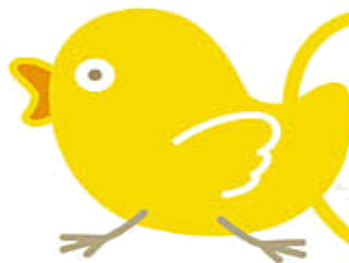
❀大場 誠一郎❀



❀梶野 晶子❀



❀中村 由美❀



今年も様々な企画や外出を計画してくれる日中班のメンバーです！
3人の新メンバーと共に楽しい活動をしていきます(^o^)



5月6日 ウクレレ演奏会(〜♪)

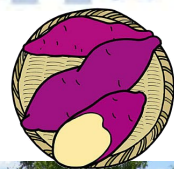


5月13日

全体活動



七沢農園ニュース(〇) サツマイモ植えました!





看護師さんに聞いてみた！

今回、答えてくれる看護師さんは～…

成田忠之看護師 「看護の日」



みなさん、こんにちは。突然ですが5月12日が何の日かご存知ですか。そう、看護の日です。正式名称は、国際看護師の日と言われ、近代看護教育の母と言われる、イギリスの看護師フローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。看護の日は、看護の心・ケアの心・助け合いの心を育み、高齢社会をささえていくきっかけとなるように、1990年に制定されました。一般的にはあまりなじみのない日かもしれませんが、私たち看護師にとっては、自分自身の看護について振り返るきっかけともなる大切な日です。そこで、勝手では御座いますが、私の看護の振り返りを少しだけここに記載させて頂こうと思います。みなさまが、利用者様に対して、どのような看護の心・ケアの心・助け合いの心を持って接していращやるか振り返るきっかけになればと思います。

私は、今から8年前にこの七沢療育園に配属されました。その前は、脊髄損傷病棟で約7年間勤めました。思うような看護が出来ずに悩んでいた時に、そこで出会った末期がんの脊損患者様から「成田君らしくやればいいのよ」と励ましの声を頂いたことをきっかけに、ターミナルケアが行える病院に行って患者様の人生に寄り添う看護を行いたいと思いました。退職を希望していることを当時の看護部長に話すと、療育園の異動を勧められ、今に至っています。最初は、利用者様への対応をどのように行ったら良いのかもわからず、身体が緊張したり、呼吸が苦しそうにしている利用者様に何もできないでオロオロしている日々が続きました。言葉を介してのコミュニケーションが困難な利用者様が多くおられ、主観的な訴えを聞く事が困難な状況でどうやってケアを行ったらよいのか戸惑うこともありました。ですが、日々利用者様の状態を観察し、普段と異常時の違いが徐々に理解できるようになり、また、表情や動作によって何を訴えているのか、苦痛時の対応の方法など、理解できるようになり、利用者様のお役にたてることが少しずつ実感できるようになり、次第に療育園の利用者様の人生に寄り添っていきたいと思うようになり、これまで療育園で頑張りました。

看護師は、利用者様の健康上の安全を最優先に考え、ケアを行うことが必要であり、安全を最優先にすることによって、利用者様やご家族の想いとずれたケアを行ってしまっているのではないかと悩む事もありました。例えば、食事をする事がとても大好きで、嬉しそうにご飯やおやつを食べている利用者様がいらしても、その方が食事を咽ながら食べていたら、肺炎などに至り苦痛とならないようにとお食事を控えるように関わらなければいけないときがあります。しかし、療育園スタッフは、医師や訓練士、栄養士など他職種とも連携をとりながら、食事の形態や姿勢などさまざまな観点から原因を究明して、少しでも食事が楽しめるように取り組んでいます。自分たちの職務上の責任を利用者様やご家族に押し付けるのではなく、利用者様がその人らしく生きていけるようにお手伝いすることが、療育園の看護師としての責任であり、やりがいであると思い、これからも頑張っていこうと思っています。

6月の予定

3日	特別活動	6日	1日外出
10日	全体活動	11日	理容入浴
13日	1日外出	17日	ニコニコ会議
19日	美容入浴	27日	誕生日会

編集後記

初めて療育園便りを担当しました。上手く出来ているか不安ですが、手に取ってもらえたら嬉しいです。最近は暑くなったり、寒くなったりと気温の変化が激しいですが5月病にならないように乗り切りましょう！ 児島

